

平成25年度 総合研究センター 普及啓発事業 開催結果

美ら海自然教室 開催結果

事業名称	実施日	会場	参加人数	内容
1 魚の赤ちゃんの世界	5月25日	総合研究センター 視聴覚室	12	仔稚魚の成長過程や成魚とは異なる形態や生態的特徴を持つことについて講義を行った。次に、顕微鏡やルーペを用いて仔稚魚を観察し、資料等を参考にしながら成魚の体の作りとの違いなどを比較した。教材用の「チリメンモンスター」から、様々な仔稚魚を探し出し、シートに貼付け、その名前や特徴の記入を行った。
2 海の危険生物	6月29日	総合研究センター 視聴覚室	24	沖縄の海に生息する危険な生物について、スライドや標本、生体展示を用いて生息場所や危険な特徴を紹介し、危険生物による事故の防止方法や応急処置方法を解説した。
3 ホズナナの秘密を探る	7月20日	総合研究センター 視聴覚室	20	ホズナを始めとした有孔虫について、スライドや標本、生体展示を用いて、生態的特徴や形態的特徴を解説した。また、参加者それぞれが顕微鏡で有孔虫の形態について観察を行った。
4 貝の秘密を探る①二枚貝の仲間たち	8月24日	総合研究センター 視聴覚室	23	二枚貝について、スライドや標本、生体展示を用いて、形態的特徴や生態的特徴を解説した。また、参加者それぞれが二枚貝の解剖や実験を行い、顕微鏡等を用いて形態についての観察を行った。
5 貝の秘密を探る②巻貝の仲間たち	9月7日	総合研究センター 視聴覚室	17	巻貝について、スライドや標本、生体展示を用いて、形態や生態的特徴について解説した。また、参加者それぞれが巻貝の解剖や実験を行い、顕微鏡等を用いて形態についての観察を行った。
6 鰐類 沖縄のザトウクジラ	11月30日	総合研究センター 視聴覚室	24	冬期に沖縄に回遊するザトウクジラについて、骨格標本、写真、映像等を交えながら生態や形態の特徴についての解説を行った。
7 魚の歯の秘密を探る	1月18日	総合研究センター 視聴覚室	12	魚の歯について、スライドや標本を用いて、種類によって異なる様々な形状や役割があることを説明し、参加者それぞれがフダイ等の歯の骨格標本を作製した。
8 ウミガメの秘密を探る	3月1日	総合研究センター 視聴覚室	15	ウミガメ類の形態や繁殖生態についての解説、ウミガメ幼体の行動観察（正の走光性）、アカウミガメに関する調査研究成果の紹介（回遊や産卵調査など）、人とウミガメの関わりについての解説、ウミガメ幼体の形態観察を行った。

(計) 147

美ら島自然教室 開催結果

事業名称	実施日	会場	参加人数	内容
9 トンボとヤゴの秘密を探る	7月6日	総合研究センター 視聴覚室	25	沖縄に生息するトンボとヤゴについて、スライドや標本、生体展示を用いて、生態的特徴や形態的特徴を解説した。また、参加者それぞれが顕微鏡でトンボやヤゴの形態について観察を行った。
10 沖縄の川のいきものを源河川でさがしてみよう	8月10日	総合研究センター 視聴覚室	23	パネルを用いて、沖縄の川の特徴や生物についての基礎的な解説や川に入る際の留意点の説明を行った後、運営スタッフがサポートを行いながら川に入って生物観察を行った。その後、採集生物を川に放流し観察会を終了とした。
11 紅茶の秘密を探る	9月28日	総合研究センター 視聴覚室	43	紅茶専門の輸入卸業兼沖縄ティーファクトリーの創業者であり、ティーテスターである内田 智子氏を講師に招聘し、紅茶の品種、紅茶の栽培が環境や他産業にもたらす効果、そして「琉球紅茶」として沖縄独自のブランド紅茶を販売するに至った経緯等について講演が行われた。

(計) 91

美ら島・美ら海こども工作室 開催結果

事業名称	実施日	会場	参加人数	内容
12 空き缶でエコ・クラフトづくり	6月15日	総合研究センター 視聴覚室	12	作り方の手順や材料、注意事項についてスライドを用いて解説した。事前に収集したアルミやスチールの空き缶等を使用して、ジンベエザメ、マント、ウミガメなどの動物や、紐付き駄駄、風車、ホイッスル、カンカウ三輪などの使って遊べる玩具や、表札や飾り皿などのクラフトを作成した。
13 木の実や種のアクセサリ	9月21日	総合研究センター 視聴覚室	14	作り方の手順や材料、注意事項についてスライドを用いて解説した。事前に収集した木の実や植物の種を使用して、フローチやペンダントなどオリジナルティ溢れるアクセサリを作成した。
14 変わりカープヤー昆虫の風を作ろう	12月21日	総合研究センター 視聴覚室	9	昆虫のイラストを描いた変わりカープヤーの作り方等について解説した後、参加者それぞれが好きな昆虫の風を作製し、完成後屋外にて実際に風揚げを行った。

(計) 35

連続講座 開催結果

事業名称	実施日	会場	参加人数	内容
15 琉球玩具への招待「琉球絵扇と形風を作ろう」	10月5日	首里城公園管理センター	6	沖縄の伝統的な風を踏まえ、独自の琉球絵扇と琉球形風を計6回の講座で制作した。講座が終了した後、1月に実際に空に掲げる風揚げ会を開催した。
	10月19日		8	
	11月2日		8	
	11月16日		6	
	11月30日		5	
	12月14日		4	

(計) 37

専門家向け講演会・講習会 開催結果

事業名称	実施日	会場	参加人数	内容
16 魚類に関する講演会「魚のオスとメスはどやうやって決まるのか？」	10月19日	総合研究センター 視聴覚室	26	魚の性転換や性決定についてスライドを使用して解説した。また、メダカの生体観察やティラピアの生殖器官の観察を通じて、魚のオスとメスの形態の違いを学んだ。
17 サンゴシンボジウム「サンゴの移植⑧～環境教育に活かすサンゴの移植活動～」	12月5日	総合研究センター 視聴覚室	56	基調講演2題【中野義勝（琉球大・熱帯生物園研究センター）、Rahmadi Prasetyo (Dhyana Pura University)】、事例報告6題【比嘉義視（恩納村漁協）、金城浩二（海の種）、上原直（グローイングコーラル）、照屋愛子（沖縄県水産課）、神谷大二郎（沖縄県自然保護課）、西平守孝（沖縄美ら島財団）】の発表があり、最後に沖縄県水産海洋技術センターの鹿原氏の司会による総合討論を行った。また、展示では7団体からのポスター等の出展があった。
18 サンゴワークショップ「サンゴの分類と同定2014」	3月20日～23日	総合研究センター 視聴覚室	13	造礁サンゴ類の属レベルの分類と同定技術を習得することを目的に、日本に分布する79属中78属の骨格標本（およそ1300点）とテキスト、スライドを用いて、各属の骨格の形態的特徴や同定する際の着目点について学習した。また、同定スキルを自己評価するためにテストを2回行った。全講座終了後に、受講証を授与した。

(計) 95

一般向け講演会・講習会等 開催結果

事業名称	実施日	会場	参加人数	内容
19 蝶の日講演会	8月8日	本部町中央公民館	140	琉球大学名誉教授の興儀 誠一氏による「沖縄にいる蝶たちの巧みな護身術」についての講演を行った。その後、瀬底小学校5年 中嶋 運誠君による第60回全琉小・中・高校図画・作文・書道コンクール最優秀賞受賞「カバダラと過ごした夏休み」の作文発表と、本部幼稚園の園児による蝶に関するオペレッタの上演が行われた。
20 亜熱帯性動物に関する調査研究・技術開発研究会	12月18日	沖縄県男女共同参画センター【ていりる】	31	助成研究者を招聘し研究発表を行うことで、研究方法・成果の共有、情報交換、今後の調査研究・普及啓発事業の効果的・効率的実施にむけた技術向上を図った。
21 亜熱帯性植物に関する調査研究・技術開発研究会	12月19日	沖縄県男女共同参画センター【ていりる】	32	助成研究者を招聘し研究発表を行うことで、研究方法・成果の共有、情報交換、今後の調査研究・普及啓発事業の効果的・効率的実施にむけた技術向上を図った。
22 沖縄ザトウゾウ会議 沖縄のホエールウォッチングを考える	12月9日	名護青少年の家 加藤秀和(東京海洋大学教授)他	55	近年のザトウゾウの増加について、どのように付き合っていくべきかを考えるため、沖縄島のホエールウォッチング業者を対象に講演会、パネルディスカッションを開催した。基調講演「増えゆくザトウゾウとどうつきあうか」加藤秀和(東京海洋大学教授)、「座間味村のホエールウォッチング」大坪弘和(座間味村ホエールウォッチング協会事務局長)、「ここまでにわかった沖縄のザトウゾウ」岡部晴菜(研究第一課)
23 沖縄の花・緑コーディネーター研修(講座1)花の街づくりについて学ぼう	7月7日	総合研究センター 視聴覚室 経営企画課 西銘直孝	17	海外の緑化事例を踏まえ、沖縄の道路・公園・海岸・壁面の緑化における現状と課題、効用、花づくりによる地域活性化に向けた取り組みの事例を紹介するとともに、地域住民や行政の役割等について解説した。また、財団で実施したアンケートを元に県内の花や緑に関するイベント、ボランティア、助成制度、支援制度等を紹介した。さらに、花の街づくりの進め方、花づくりのポイントを解説し、海洋博公園や地域での花を利用した取り組みを紹介した。
24 沖縄の花・緑コーディネーター研修(講座2)沖縄に生育する熱帯・亜熱帯性植物について	10月20日	総合研究センター 視聴覚室 研究第二課 宮里政智	16	「沖縄に生育する熱帯・亜熱帯性植物について」の講義と、「クローンを用いた取り木」の実習を実施。講義は沖縄の熱帯性気候の特徴と代表的な土壌の性質、沖縄の植生の特徴について、酸性土壌地、渓流地、琉球石灰岩(海神)、砂浜、石灰岩地帯、マングローブ林等に生育する植物を紹介。さらに沖縄に導入されている熱帯・亜熱帯花木、つる性植物の紹介と、植物の繁殖方法、取木と接木の方法について分かりやすく講義していただき、実習では受講生全員が取り木を行った。
25 沖縄の花・緑コーディネーター研修(講座3)琉球の植物たち	12月8日	総合研究センター 視聴覚室 研究第二課 阿部篤志	13	「琉球の植物たち」とのタイトルで、沖縄をとりまく地史・気候・島嶼の環境をはじめ、様々な生態系(砂浜、海岸、低地、溪流沿い、山地等)で生育する多様な植物の紹介、分布に特徴(固有・隔離・北限・南限)のある植物、沖縄の絶滅危惧植物、新産地と新種等をスライドで紹介した。さらに講義の最後には、野生植物を実際に触れる機会をつくり、海浜や渓流帯の植物の特徴や産生植物についての復習を行った。受講者からは大変好評であった。その他には沖縄の野生植物に関連する図書紹介も行った。
26 沖縄の花・緑コーディネーター研修(講座4)植物と人間のかかわり	3月9日	総合研究センター 視聴覚室 常務理事 花城良廣	14	講義では植物が炭酸同化作用により無機物から有機物をつくり出すということによって酸素を放出し食糧を生み出し、動物の生存に不可欠のものであるという基本的なことから、観葉植物がホルムアルデヒド、キシレン等の内分分泌物質を除去する効果があること、植物が人間の生理、心理に与える影響や、園芸活動における感覚体験と動物体感の相互作用が園芸療法の本質であること等を解説し、その後世界各地の園芸文化、インキキア及びアウトドア(屋外を植物で飾る)等の緑化技術等をパワーポイントで紹介した。講義後に意見交換会を実施した。

(計) 318

沖縄の天然記念物シリーズ講演 開催結果

事業名称	実施日	会場	参加人数	内容
27 セマルハコガメとリュウキュウヤマガメ	5月11日	総合研究センター 視聴覚室	25	国指定の天然記念物である「セマルハコガメ」と「リュウキュウヤマガメ」について、長年保護と調査・研究に携わった田中 聡氏を講師として招聘し講演を行った。
28 ノグチケラ	6月8日	総合研究センター 視聴覚室	25	国指定の天然記念物である「ノグチケラ」について、長年保護と調査・研究に携わった安座間 安史氏を講師として招聘し講演を行った。
29 ヤンバルテナゴコガネ	11月9日	総合研究センター 視聴覚室	41	国指定の天然記念物である「ヤンバルテナゴコガネ」について、調査・研究に携わっている佐々木 健志氏を講師として招聘し講演を行った。
30 ケナガネズミとトゲネズミ	11月16日	総合研究センター 視聴覚室	31	国指定の天然記念物である「ケナガネズミ」と「トゲネズミ」について、長年、やんばるの自然保護活動に携わってきた久高 将和氏を講師として招聘し講演を行った。

(計) 122

外部展開事業 開催結果

事業名称	実施日	会場	参加人数	目的及び内容
31 生物多様性まつり	7月14日	沖縄県新都心公園	—	沖縄県環境生活自然保護課主催の「生物多様性まつり」に参加し、普及開発課、研究第一課、研究第二課が実施する調査研究・普及啓発事業から、様々な動物についての標本展示や解説、草玩具の作り方についての解説を行った。来場者数3,000人
32 夏休みこども自由研究in沖縄コンベンションセンター2013	8月3日、4日	沖縄コンベンションセンター	175	総合研究センターの事業から、夏休み自由研究のヒントになる素材を展示・解説した。また海洋博公園及び当財団が指定管理する名護青少年の家が開催する夏休みイベントが自由研究素材として活用できることを紹介した。会場棟では、小学生以上の親子を対象に1日3回「サンゴの型取り染めでオリジナルエコバックを作ろう」の工作教室を開催した。来場者数25,000人

(計) 175

受け入れ事業 開催結果

事業名称	実施日	会場	参加人数	目的及び内容
33 「名桜大学 中学生宿泊研修プログラム」における講演	8月17日	総合研究センター 視聴覚室 魚類チーム 松崎 普及開発課 永田	28	沖縄本島北部12市町村の中学生を対象に、将来の仕事への可能性や希望を広げる機会を提供することを目的に開催される「名桜大学 中学生宿泊研修プログラム」にて、水族館の飼育員の仕事についての講演を行った。
34 神戸国際大学「リハビリテーション活動演習プログラム」での講演	9月10日、11日	総合研究センター 視聴覚室 研究第一課 植田啓一	40	神戸国際大学の「リハビリテーション活動演習プログラム」にて、水生動物の理学療法の可能性についての講演を行った。
35 学校法人船橋学園 とわの森三愛高等学校の研修受け入れ	11月7日	総合研究センター 視聴覚室 研究第一課 植田、岡	13	とわの森三愛高校(北海道)の獣医学進修中の研修の一環として、水族館における獣医の仕事についての講演、魚類の観察及び解剖等の魚類学の基礎に関する実習を行った。
36 JICA課題別研修における講演	11月22日	沖縄美ら海水族館 魚類チーム 野中正法	8	サンゴ礁をはじめとする沿岸生態系の保全と持続的利用を両立するために必要な知見を備えた人材を育成することを目的としたJICA課題別研修にて、環境保全における水族館の活用についての講演を行った。
37 「韓国済州大校におけるアクアリスト養成教育実習」での講演	2月17-20日	総合研究センター 視聴覚室 研究第一課 佐藤圭一	6	海外現場教育を通し専門的な人材の養成を目指す「韓国済州大校のアクアリスト養成教育実習」にて、水族館の飼育員の仕事や海洋生物についての講演を行った。

(計) 95

講師派遣 開催結果

事業名称	実施日	会場・派遣者	参加人数	内容
38 神戸国際大学「義肢装具学実習」における講演	4月19日	神戸国際大学 研究第一課 植田啓一	—	神戸国際大学リハビリテーション学部の実習にて、世界初のイルカに対する人工尾びれの開発からリハビリ実施までの過程についての講演を行った。
39 真喜屋小学校「総合的学習の時間」の授業への協力	6月1日	名護市立真喜屋小学校 研究第一課 岡田一也	15	真喜屋小学校の「総合的学習の時間」にて、自然を大切に作る心情を育ててキャリア教育の充実につなげることを目的に、名護市浪河川での生き物採集体験（1回、親子レクレーションにて実施）や地域の川の環境についての学習会（3回）を実施した。
	6月15日		15	
	7月13日		15	
	9月9日		15	
40 大阪教育大附属天王寺中学校・附属高等学校天王寺校舎における公開セミナーでの講演	6月22日	大阪教育大学附属天王寺中学校・附属高等学校天王寺校舎 研究第一課 植田啓一	—	大阪教育大学附属天王寺中学校・附属高等学校天王寺校舎にて、世界初のイルカに対する人工尾びれの開発からリハビリ実施までの過程についての講演を行った。
41 (社団) 養秀同窓会企画文化節養秀園芸サークル主催の養秀園芸祭での講演	6月30日	養秀同窓会会館 経営企画課 下地俊充	—	地域への緑化普及を目的として開催された養秀園芸祭にて、「熱帯の珍しい果樹・花木」についての講演を行った。
42 嘉手納町立屋良小学校における環境学習	6月30日	嘉手納町立屋良小学校 魚類チーム 松本、当真	—	子どもたちの学ぶ意欲を高め、将来の夢や希望を育むことを目的として開催された「屋良っこ夢スクール」にて、水族館の飼育員の仕事内容についての紹介や、魚類の生体展示と特徴についての解説を行った。
43 JICA「オマン国マングローブ環境情報センター開発プロジェクト」の研修	7月1日	沖縄美ら海水族館 魚類チーム 松崎章平	4	オマン国のマングローブ保全に必要な人材を養成することを目的に行われた研修にて、沖縄美ら海水族館の施設に関する講義を行った。
44 宜野座村立松田小学校および幼稚園に対する環境学習会	7月2日	宜野座村立松田小学校 普及開発課 前田、永田	135	イノニに生息する生物について解説し、次に危険生物について解説を行った。沖縄で産卵するウミガメ類について解説し、幼体の観察を行った。最後に、環境問題について講義した。
45 名桜大学「沖縄学」における講演	7月12日	名桜大学 財団参事 西平守孝	—	名桜大学における「沖縄学」講座にて、沖縄の文化（伝統的玩具）に関する講演を行った。
46 社会法人倫理研究所 やんばる倫理法人会「モーニングセミナー」での講演	7月30日	名護市大中区公民館 研究第一課 植田啓一	30	経営者向けの勉強会として開催される「モーニングセミナー」にて、イルカの人工尾びれの開発について講演した。
47 「夏休み！親子で遊ぼう・環境&イノニ体験バスツアー」におけるイノニ観察会	8月11日	本部町備瀬 普及開発課 永田俊輔	32	サンゴ礁のイノニとそこに生息する生物についてパネルを用いて説明を行った後、備瀬イノニに生息する生物について観察を行った。
48 昆布ジュニアライフセービングクラブに対するウミガメ講演	8月17日	うるま市宮城島 普及開発課 前田好美	26	沖縄県で確認されたことのあるウミガメの種類の種類や生態、形態などの解説に加え、うるま市内における過去3年間のウミガメ産卵状況などの紹介を行った。講演終了後には、ウミガメ幼体（1歳個体）の観察を行った。
49 名護青少年の家「夏休みの宿題お助け隊」における工作教室	8月25日	名護青少年の家 普及開発課 高、永田	46	夏休みの宿題の工作物としてサンゴの型取り染めをした。最初に、パネルを用いてサンゴがどのような生物であるかを説明した後に、実際にサンゴの骨格を用いた型取り染めを行った。
50 社会法人倫理研究所 中部倫理法人会「モーニングセミナー」での講演	9月3日	プラザハウスショッピングセンター（沖縄市） 研究第一課 植田啓一	60	経営者向けの勉強会として開催される「モーニングセミナー」にて、水族館における健康管理についての講演を行った。
51 ALLやんばる主催の「宿泊型科学イベント（中学生対象）」	10月13日	名護青少年の家 研究第一課 佐藤圭一	—	沖縄工業高等専門学校が主催するALLやんばる 科学と教育のまちづくり「宿泊型科学イベント」にて、「科学者の話を聞こう」というテーマで海洋生物の調査研究に携わる実体験についての講演を行った。
52 奄美群島ウミガメ会議2013での講演	10月20日	奄美市立奄美博物館 研究第一課 河津 魚	—	奄美群島ウミガメ会議2013にて、沖縄県におけるウミガメの上陸・産卵状況についての講演を行った。
53 那覇市立金城小学校での環境学習	10月28日	那覇市立金城小学校 普及開発課 前田、永田	148	沖縄で産卵するウミガメ類について解説を行い、生態観察を行った。サンゴの生態的特徴やライフサイクル等について解説した。最後に、ゴミ問題や海水温の上昇等、環境問題についての解説を行った。
54 一般社団法人倫理研究所ニライ倫理法人会「モーニングセミナー」での講演	11月7日	嘉手納町商工会 研究第一課 植田啓一	—	経営者向けの勉強会として開催される「モーニングセミナー」にて、獣医師の視点からみた飼育動物の健康管理について講演した。
55 「国際海洋環境情報センター施設一般公開」における講演	11月23日	国際海洋環境情報センター 研究第一課 佐藤圭一	—	「国際海洋環境情報センター施設一般公開」にて、生体や標本を用いて深海生物についての講演を行った。
56 琉球大学教育学部「環境の思想」非常勤講師	11月25日	琉球大学 研究第一課 山本広美	—	沖縄の海洋環境やサンゴ礁生態系の特徴、その保全について講義を行った。沖縄美ら海水族館の紹介と、総合研究センターのサンゴ礁保全の取り組みについても併せて紹介した。
57 那覇市緑化センターにおける風作り教室	1月5日	那覇市緑化センター 財団参事 西平守孝	—	新春親子特別講座にて風作り教室を行った。風作製後には公園内で風上げを行った。
58 奄美群島エコツアーガイド連絡協議会自主研修会での講演	1月10日	奄美海洋展示館 研究第一課 岡部晴葉	—	奄美群島エコツアーガイド連絡協議会自主研修会にて、「奄美・沖縄のザトウクジラ～エコツアーリズムとしてのホエールウォッチングの推進～」というテーマで講演を行った。
59 奄美瀬戸内町文化遺産活用実行委員会講座2014での講演	1月12日、13日	瀬戸内町立図書館、郷土館 研究第一課 岡部晴葉	—	鹿児島県大島群瀬戸内町周辺海域で確認される鯨類の調査及び周知を目的として開催された講座にて、鯨類生態調査の指導及びザトウクジラの特徴等についての講演を行った。
60 海洋調査に関する講演	1月20日	宮古島市 研究第一課 山本広美	—	サンゴ群集を評価するための様々なモニタリング手法について、各国の事例を紹介した。総合研究センターで行っているモニタリング手法とデータ解析の方法、さらに結果の一般公開についても詳しい説明を行った。
61 本部町立水納小中学校での環境学習	2月21日	本部町立水納小中学校 研究第一課 山本広美	3	現在沖縄で起こっている、自然環境をめぐる問題についての授業を行った。生徒が新聞記事から選んだ問題について発表したあと、まとめを行い、美ら島財団の取り組みについて紹介した。
62 日本獣医師会獣医学術学会年次大会における講演	2月22日	幕張メッセ 国際会議場 水族館事業部 友原、研究第一課 植田	—	学術研究とその振興・普及を図ることを目的に開催される日本獣医師会獣医学術学会年次大会における市民公開プログラム「プロに聞く、水族館の裏話」にて講演を行った。
63 市民公開シンポジウム「動物園大学」での講演	3月16日	よこはま動物園 研究第一課 植田啓一	300	京都大学野生動物研究センター主催の市民公開シンポジウム「ずーじゃん。動物園大学④in横浜」にて、沖縄美ら海水族館の獣医師の役割についての講演を行った。

64	筑波実験植物園開園30周年記念シンポジウム「絶滅危惧植物を考えよう」 沖縄の絶滅危惧植物と保護・保全に向けた研究	6月1日	筑波実験植物園 研究第二課 阿部篤志	100	筑波実験植物園開園30周年記念シンポジウムが、絶滅危惧植物に関する様々な分野の研究事例、保全活動（社会発信）を紹介することにより、一般の方々へ絶滅危惧植物とその保全への関心と理解をより深めてもらうことを目的としており、弊財団から沖縄の絶滅危惧植物と保全の取り組みについて講演した。（※当財団からは講演者を派遣）
65	てだこ学園 花卉園芸 I（講義）	6月4日	浦添市中央公民館 1階 研究第二課 宮里政智	50	てだこ学園では、高齢者生涯学習を更に充実発展させるために講座等の諸準備を進めており、今回は学院性に夢を与え楽しい学園生活を送る糧の一環として、花卉園芸講義を実施した。（※当財団からは講演者を派遣）
66	てだこ学園 花卉園芸 II（実習）	10月11日	海洋博講演 植物園 研究第二課 宮里政智	50	てだこ学園では、高齢者生涯学習を更に充実発展させるために講座等の諸準備を進めており、今回は学院性に夢を与え楽しい学園生活を送る糧の一環として、花卉園芸実習を実施した。（※当財団からは講演者を派遣）
67	第1回沖縄市花いっぱい推進運動 土の作り方と寄せ植えの方法	6月30日	コザ運動公園 研究第二課 宮里政智	30	沖縄市が主催の「H25年度沖縄市花いっぱい推進運動」の一環として、土の作り方と寄せ植えの方法について講習会を実施した。（※当財団からは講演者を派遣）
68	第2回沖縄市花いっぱい推進運動 沖縄に育つ花木類と草花の寄せ植え教室	12月14日	コザ運動公園	30	沖縄市が主催の「H25年度沖縄市花いっぱい推進運動」の一環として、沖縄に育つ花木類と草花の寄せ植え教室を実施した。（※当財団からは講演者を派遣）
69	ALLやんばる 科学と教育のまちづくり「宿泊型科学イベント」 科学者の実験（植物について）ランの楽しい講習会（小学生対象）	10月26日	名護青少年の家 研究第二課 阿部篤志	93	沖縄工業高等専門学校が主催するALLやんばる 科学と教育のまちづくり「宿泊型科学イベント」において、「科学者の話を聞こう」というテーマで、植物の調査研究に携わる実験体についての講演を行った。
70	やんばるの生態を学ぼう やんばるの野生の植物	3月1日	名護青少年の家 研究第二課 阿部篤志	25	名護青少年の家（県）の主催事業「やんばるの生態を学ぼう」として、やんばるの野生の植物について理解を深めるために、産学及び名護岳登山道にて観察を交えた講習会を実施した。（※当財団からは講演者を派遣）
71	H25沖縄都市緑化in糸満市 ラン栽培教室	10月11日	糸満市農村環境改善センター 研究第二課 佐藤裕之	14	ランの種類や特徴などについての解説後、実際にカトレアの苗を用いて植え替え体験を行った。
72	誰でも栽培できるラン栽培講座 第1回 ランについて（総括）	10月3日	本部町博物館ギャラリー 研究第二課 阿部篤志	23	本部町に住む人々が町花のランを生活の中に取り入れ、生活に豊かさや潤いをもたらす、また訪れる観光客の目を惹きつけることを目的に、本部町が主催で「第1回ランについて（総括）」の講習会を実施した。（※当財団からは講演者を派遣）
73	誰でも栽培できるラン栽培講座 第3回 沖縄の野生ラン	11月7日	本部町博物館ギャラリー 研究第二課 阿部篤志	21	本部町に住む人々が町花のランを生活の中に取り入れ、生活に豊かさや潤いをもたらす、また訪れる観光客の目を惹きつけることを目的に、本部町が主催で「第3回沖縄の野生ラン」の講習会を実施した。（※当財団からは講演者を派遣）
74	誰でも栽培できるラン栽培講座 第4回 ランの交配及び増殖	11月21日	本部町博物館ギャラリー 海洋博公園管理課 瀬原奈々恵	23	本部町に住む人々が町花のランを生活の中に取り入れ、生活に豊かさや潤いをもたらす、また訪れる観光客の目を惹きつけることを目的に、本部町が主催で「第4回ランの交配及び増殖」の講習会を実施した。（※当財団からは講演者を派遣）
75	誰でも栽培できるラン栽培講座 第5回 植え付け実習	12月5日	本部町博物館ギャラリー 研究第二課 宮里政智	14	本部町に住む人々が町花のランを生活の中に取り入れ、生活に豊かさや潤いをもたらす、また訪れる観光客の目を惹きつけることを目的に、本部町が主催で「第5回ラン植え付け実習」の講習会を実施した。（※当財団からは講演者を派遣）
76	ラン栽培講習会	3月23日	那覇市緑化センター 研究第二課 宮里政智	40	那覇市緑化センターでは、市民の皆様が円滑に緑のまちづくりに参加できるように、緑に関する相談窓口を設けており、花の名前や、育て方、土づくり、植樹の時期などの指導や各種講座・栽培教室を通して普及活動を行っている。今回は普及活動の一環で、一般市民を対象にラン栽培講習会を行った。

(計) 1,357

海洋博公園内開催教室 開催結果

事業名称	実施日	会場	参加人数	内容
77 魚の赤ちゃんの世界	5月18日	美ら海プラザ	38	魚の仔稚魚についてスライド等を用いて解説を行った。
78 海の危険生物	6月1日	美ら海プラザ	48	海の危険生物についてスライド等を用いて解説を行った。
79 サンゴの秘密を探る	6月15日	美ら海プラザ	32	サンゴについてスライド等を用いて解説を行った。
80 ウミガメの秘密を探る	6月30日	美ら海プラザ	69	ウミガメについてスライド等を用いて解説を行った。
81 マンタの秘密を探ろう	7月6日	美ら海プラザ	39	マンタについてスライド等を用いて解説を行った。
82 南西諸島のウジラたち2 ～ちょっと変わったアカボウウジラ科鰐類～	8月17日	美ら海プラザ	62	アカボウウジラ科の鰐類についてスライド等を用いて解説を行った。
83 甲殻類の秘密を探ろう	9月15日	美ら海プラザ	33	甲殻類についてスライド等を用いて解説を行った。
84 ヤシガニ学習会	10月26日	美ら海プラザ	59	ヤシガニについてスライド等を用いて解説を行った。
85 魚の体のしくみ	11月16日	美ら海プラザ	47	魚の体の仕組みについてスライド等を用いて解説を行った。
86 鰐類 沖縄のザトウウジラ	12月14日	美ら海プラザ	33	ザトウウジラについてスライド等を用いて解説を行った。
87 メガマウスザメの秘密を探る	2月15日	美ら海プラザ	59	メガマウスザメについてスライド等を用いて解説を行った。
88 沖縄の深海生物にせまる！	3月8日	美ら海プラザ	61	沖縄の深海生物についてスライド等を用いて解説を行った。
89 海藻おしぼアートをつくろう	5月4日	熱帯ドリームセンター	27	海藻おしぼ作製の前に、スライドを用いて海藻類の種類や特徴など、基本的な知識について講義を行った後、講師が実際に海藻おしぼの作り方の実演を行った。参加者が作った作品は吸水紙に挟んだ状態で持ち帰って頂いた。今回は乾燥以降の工程を各自で行うため、乾燥後の処理についても説明を行った。
90 サンゴの型取り染め	6月1日	熱帯ドリームセンター	27	スライドを用いて、サンゴの生態的特徴などに関する基本的な講義を行った後、手順について実演を通して説明した。参加者はTシャツなどの染め物にする材料を各自持参し、作品を作製した。

91	牛乳パッククラフト ～海の動物を作ろう～	8月17日	美ら海プラザ	39	クラフト作品および作製時における注意事項を説明した。次に、作品の一つであるウミガメの形態的特徴について解説し、単なるクラフト工作ではなく、生物の特徴をきちんと捉えたクラフト作製ができることを紹介した。
92	木の実でアクセサリー作り	12月7日	熱帯ドリームセンター	36	使用する木の実や種の紹介、作成の手順と注意事項を説明した。次に参加者にストラップ、ネックレスなどの見本の中から作りたいたアクセサリーを1点選んでもらい、それぞれが見本を基本にしながらも自身のアイデアを取り入れて作成した。
93	こども風 ～カープヤーを作って揚げよう～	12月28日	熱帯・亜熱帯都市緑化植物園	53	材料の説明を行い、次に作製のデモンストレーションを行った。その後、参加者各々が好きな風船を選び、実際に風を作製した。作製後には植物園前の広場で風を揚げる参加者もあり、空高くに揚がる風を見て歓声を送っていた。
94	植物の型押し染め	3月1日	熱帯ドリームセンター	38	材料となる植物の種類とそれらの断面の形状についての説明を行い、次に作品を紹介しながら作製手順についての説明を行った。その後、参加者それぞれが作品を作製した。
95	ススキのほうきを作ろう	3月15日	熱帯・亜熱帯都市緑化植物園	20	ススキの穂、紙ひも等、材料の説明を行い、次にデモンストレーションをしながら“ほうき”の作製手順を解説した。その後、参加者それぞれが作品を作製した。
96	植物の秘密を探る	9月14日	熱帯・亜熱帯都市緑化植物園	25	県立石川高校 元教諭の伊波善勇氏を講師として招聘した。スライドを用いて、日本の植物の数と琉球列島、琉球列島の植物について、植物標本（おしば）について等を解説した。次に、熱帯・亜熱帯都市緑化植物園 見本園にて植物観察を行った。
97	亜熱帯緑化事例発表会	10月4日	熱帯・亜熱帯都市緑化植物園	85	緑化技術に関する発表2件、緑化事例に関する発表5件の発表があった。発表会では、審査員5名による審査を行い、最優秀賞1件、優秀賞2件を選出した。発表会終了後には、参加者全員に感謝状と記念品を贈呈した。講演会については千葉大学大学院 深水兼志氏を招聘し「パトリック・プランの“垂直の庭”の理念と手法に見る壁面緑化の文化的価値」についてお話し頂いた。
98	美ら島自然教室「秋の野鳥観察会」	10月20日	熱帯・亜熱帯都市緑化植物園、水の階段、水のフロム ナードほか	31	菅原建二氏を講師として招聘し、参加者にワークシートを配布し、講師の菅原建二氏による解説で公園内を散策しながら野鳥の観察会を実施した。また、都市緑化植物園内では野鳥に関する展示パネル等を用い、鳥の季節性、鳥と自然環境や植物、昆虫等について解説した。
99	美ら島自然教室「沖縄のカブトムシ・クワガタの秘密を探る」	7月21日	熱帯ドリームセンター	117	下地幸夫氏を講師として招聘し、スライドを用いて沖縄のカブトムシ・クワガタの種類、体のつくり、独自の進化、暮らし、生物季節、植物との関わり、環境問題、採し方、飼いや等を解説していただいた。また講義を聴きながら、標本、生体、飼育ケースを用いた観察も行った。
100	沖縄の樹木剪定講習会	12月6日	熱帯・亜熱帯都市緑化植物園 植物管理センター視聴覚室、パンコの森	80	山本紀久氏を講師として招聘し、沖縄で植栽されている樹木の基礎的な知識及び剪定方法・樹形の作り方を座学で学び、屋外においてはコパティシ、ガジュマルの英技指導による剪定方法を学んだ。
101	ラン類に関する講演会 (その1) 専門家に聞くこれから注目されるラン類について	1月17日	熱帯・亜熱帯都市緑化植物園 植物管理センター視聴覚室	93	磯村信夫氏を講師として招聘し、「専門家に聞く、これから注目されるラン類について」をテーマに講演会を開催した。ランは毎年膨大な数の新品種が誕生しているが、市場に流通する品種は限られている。今回の講演会では、市場性の高い品種、今後、望まれる品種等について紹介した。
102	ラン類に関する講演会 (その2) ランと虫のふしぎなお話	3月22日	熱帯・亜熱帯都市緑化植物園 植物管理センター視聴覚室	37	日本の蘭研究の第一人者である唐澤耕司博士を講師として招聘し、ランの花と昆虫の関係について一般を対象として講演して頂いた。巧妙なランの花の仕組みと蜜物に誘われる虫の面白い話を通して、生き物のつながりや進化の不思議を知ってもらい、自然や命の大切さについて学んでもらった。

(計) 1,288